

# やまのうち通信

## 第200号

### その①

令和5年12月20日

山内自治振興センター  
庄原市山内町 813-4  
TEL・FAX (0824) 74-0451  
✉ yamanouchi.jichi@gmail.com



↑フェイスブック  
QRコード



↑インスタグラム  
QRコード

## 祝！！やまのうち通信第200号発刊！！



山王 谷本さん宅付近から山内小学校方面 龍出現 撮影者 山内町 谷本豊さん

今回で、振興区だより「やまのうち通信」が200号の発刊となりました。

「やまのうち通信」は昨年度庄原市の22の「自治振興区だより」コンクールで一位に輝きました。

公民館から自治振興区に制度が変わったのが平成17年で、あれから18年になりますが、公民館は、住民の生涯学習的な活動が主でした。

自治振興区は公民館活動に加えて地域住民の創意工夫で地域を守り発展させていく地域づくりの制度にかわりました。山内では、いち早く安心して安全な地域づくりと活力のある地域を目指して「おたがいさまネット」や「空き家対策」「ブランド米づくり」「環境整備アダプト制度」に取り組み、その報告や各地域の実績のある活動の報告と介護支援センター相扶園からの有用な福祉情報や地域活性化事業「農村 RMO」の取り組み情報など盛りだくさんの内容です。山内自治振興の活動については、近隣の市や他の県からの視察も多く続いています。

「やまのうち通信」の発行にご尽力いただきました皆様に感謝と敬意を表します。「やまのうち通信」により連携を深め、さらに力を合わせて活力のある地域づくりができますことを願っています。山内自治振興区長 市川基矩

## 祝！！ブランド米「里山の夢」全国米コンテスト 金賞受賞



松田一馬さん

↑松田一馬さん



12月1日新潟県津南町で行われた「米・食味分析鑑定コンクール：国際大会 in つなん」で農事組合法人殿垣内が出展した山内のブランド米「里山の夢」が金賞に輝きました。

このコンテストでは全国から約5000点が出展され、そのうち「都道府県代表・海外地域代表お米選手権」部門で里山の夢は金賞に選ばれました。

これを契機に里山の夢ファームの益々の発展を願っています。



## 福祉知っ得情報

### 「孤立・孤独にならない地域を」

コロナ禍というかつて経験したことのない数年を経て、今、人と人との交流が徐々に戻つつあります。とはいえ、地縁・血縁などといった「縁」という機能が弱体しているところへ、感染防止のための自粛という社会現象がさまざまな所へ、大きな影響をもたらしました。

今、社会的孤立(誰ともつながっていない)という課題が注目されています。

ある研究では、「孤立」を示すものとして、①会話の欠如 ②頼れる人の欠如 ③手助けする関係の欠如」が挙げられています。高齢でも非高齢でも単身男性の「社会的孤立」が最も深刻とされていました。

「孤立」を予防するため「誰かのために何かをする、できる」ということは、「自分のため」につながります。高齢者も子供も障害の有無にかかわらず地域住民による助け合い、いわゆる「互助」の大切さを感じます。誰かのために何かする、役割を持つことで「孤立」は解消できるといわれます。

最近、「伴走型支援」が孤立に対する支援として有効といわれています。伴走型支援は、深刻化する「社会的孤立」に対応するため「つながり続けること」を目的とする支援のことを言います。



長期間孤立し、自己肯定感が低く、自分の課題が見えてこないことも多い孤立状態には、目先の課題解決のみを目的とした支援では対応が難しいといわれています。時間をかけてつながり続けていくことで、本人が自分の課題や長所を認識し周囲との関係を築いていくための鏡となる「他者(存在)」が必要なのです。

「孤独」は「寂しい」「独りぼっち」などという個人の主観、気持ち、感じ方によるものであり、解決しにくいかもしれませんが、「孤立」は予防できる、解決できると、講演会で学んだ言葉が印象的です。

ご自身や周りではいかがですか。古くからのつながりが強い地域でも複雑化した課題が隠れていることもあります。「孤立」は、どちらの地域にも共通する、新しい取組み課題であり、わたしたちケアマネジャーにとっても「孤立支援」に対する支援は、本人の介護予防、在宅生活の継続という視点からも求められる重要な視点です。

あなたなら、まわりの人に、どのように声を掛けますか。かけられたいですか。

相扶の郷居宅介護支援事業所 課長 長瀬 並



### 山内自治振興区 健康マージャン教室 参加者募集!

山内自治振興センターでは、健康マージャンの教室を開催します。健康マージャンは、高齢者や障がい者なども楽しめる麻雀のルールで、健康にも認知症予防にも良いとされています。初心者から上級者まで、どなたでも参加できます。麻雀の基本的なルールやマナー、健康マージャンの特徴などを学びながら、仲間と楽しく対局しましょう。詳細は回覧をご覧ください。

### グラウンドゴルフクラブ 12月定例会



成績発表



優勝 森山博さん  
準優勝 紙岡茂子さん  
3位 三上智道さん



### 12月環境パトロール隊



右から、  
見玉祥功さん、池田修二さん、  
松村修治さんです

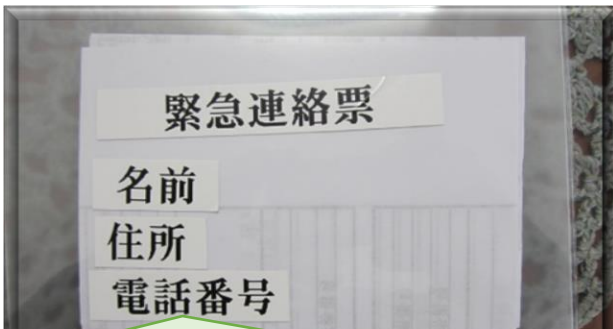
# おたがいさまネット 「一人暮らしの見守りについて」

「おたがいさまネット」で取り組んでいる一人暮らし高齢者等の見守りは自治会ごとに見守り対象者が決められています。この度各自治会に対象者数を問い合わせたところ山内地区全体では46名になりました。これは取り組み当初数えていた88名に比べると半減に近い数ではありますが、亡くなられたり施設入所されたりの人口減少も反映していると思われます。全国的には核家族化と高齢化の中で一人暮らし高齢者は増加傾向にあり、地域住民による見守り活動は、一人暮らし高齢者の方が安心して暮らしていく上でますます重要になっています。このことを踏まえて「おたがいさまネット」の継続を図る上でポイントになる項目を3点ほど挙げてみました。

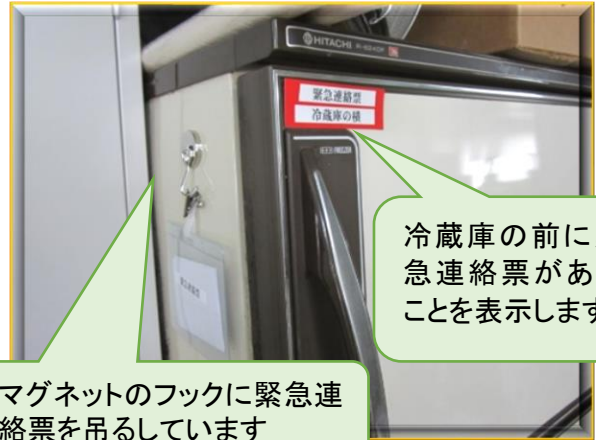


## 緊急連絡票について

見守り対象者の方のお宅には緊急連絡票が設置してあります。本人に病気や事故などで緊急事態が発生したとき、いち早く知らせるべき親族・支援者の連絡先やかかり付け医などを記したもので、当地区では冷蔵庫の横に透明ケースに入れて取り付けてあります。設置の確認と合せて支援者交替など記載項目に変更がある場合は更新しましょう。



袋の前面に自分の名前・住所・電話番号を表示し、袋の中に個人情報が入っています



冷蔵庫の前に緊急連絡票があることを表示します

マグネットのフックに緊急連絡票を吊るしています



## さりげない見守りについて

訪問や電話による見守りは主に一人暮らし高齢者等巡回相談員や民生委員に拠るところですが、洗濯物やカーテンの開け閉めや戸外活動、外出など近隣住民による「さりげない見守り」は安否確認にとっても有効です。

住民ぐるみで取り組む「気の掛け合い」を「おたがいさまネット」の推進力にしましょう。



## 孤立防止について

孤立防止は見守る側と見守られる側の双方から図りましょう。高齢になると外出機会が少なくなりがちですが、趣味の活動やサロンなどの集まりの場に進んで参加することによって、お互いの安否が確認できます。また様々な社会参加は認知症の抑止にも効果があると言われていています。引きこもり傾向にある方には声掛けをするなど「おたがいさまネット」を地域住民の「人つながり」の取り組みとして継続して行きましょう。



地域マネージャー 三上智道

## おくりもの

### ◆香典返し

11/17~12/14

山内町 正畑 俊美様 (故 シズコ様)

高茂町 坂村 壽恵様 (故 晃様)



ご芳志ありがとうございました。ご趣旨を大切に地域の社会福祉増進及び地域振興の資金として、活用させていただきます。

山内地区社会福祉協議会

## 1月の予定

9日 ふれあい給食

20日 自治会長会

23日 ふれあい給食



# 定住促進プロジェクト(空き家活用)だより

## 相続登記の義務化 ご存じですか？

2024年(令和6年)4月1日より相続登記を義務化する法律が施行されることになりました。土地や建物の所有者さんが亡くなった際、配偶者の方や子どもさんなど所有取得を周知された日から3年以内に相続登記をすることが必要となります。

庄原市には空き家の問題について相談できる「庄原市空き家解決専門ネットワーク」(0824-72-2315)もありますので、お困りの場合はぜひ相談してみてください。

講演会「空き家を放置するとどうなるのか」「相続登記の義務化」「空き家の相続の問題」等について庄原市空き家解決専門家ネットワークの飯田司法書士さんにお話しをお伺いします。

【日時】 令和6年2月20日 18時～19時

【場所】 山内自治振興センター

## 県北の自治体職員さんや住民の皆さんと、定住について共に学び合いました♪

私たちの行う定住推進プロジェクト(空き家活用や片付けの方法など)について学びたいとの依頼を受け、高野・総領・作木・河内・田幸・和田・川地などの皆様へご説明させていただきました。私たちも各地域の状況を教えていただき中で、「次はこうしてみよう!」「そんな方法もあるんだ♪」とのアイデアが次々に生まれました。「地域を越えた連携もこれからは必要になる。地域の為に尽力しよう。」という気持ちが心の底からあふれ出る素敵な出会いとなりました。



第16回

## 霜月の暮らしごと

## 古民家体験事業 石窯の土台作り

足場作り・ブロックの積み上げ・土詰め・セメント練り・コンクリートならし木枠作りなど昔の技も取り入れながら行いました。少しずつ完成に向かっていきます。

みんなで地域を盛り上げよう!

力を合わせて土を入れ踏み固める。見よう見まねで、子どもたちはどんどん上手になりました。



(写真は11月26日・12月2日の様子です)

# やまのうち通信

第200号 その②

令和5年12月20日

山内自治振興センター  
庄原市山内町 813-4  
Tel・FAX (0824) 74-0451  
✉ yamanouchi.jichi@gmail.com



## 山内自治振興センター 年末大掃除を行いました！



今年も恒例の山内自治振興センターの大掃除を、12月6日(水)に、午前と午後に分かれて、全部の部屋の大掃除をしました。

大掃除には、山内小学校6年生の皆さん、各教室の皆さん、老人会、女性会、ふれあい給食会、自治会長会、民生委員、放課後子ども教室指導者会の皆さん等多数の方々にご協力いただきました。お忙しい中参加してくださり、ありがとうございました。



きれいに掃除してくださり  
ありがとうございました！

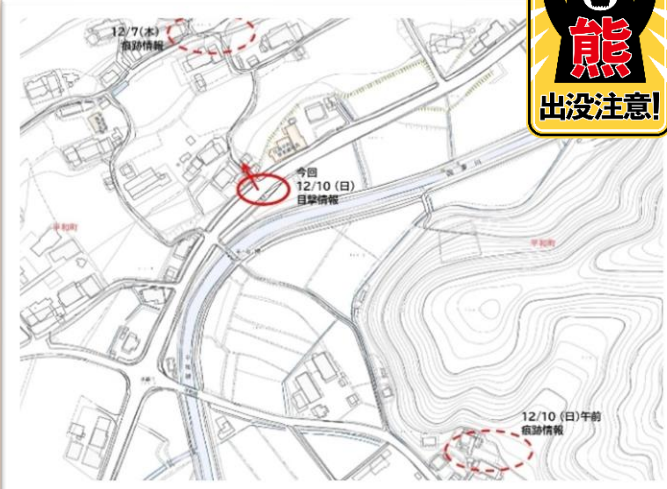


## 今年は山内自治振興区内に熊の出没が相次ぐ

11月13日(月)平和町大下で柿の実が食べられ、枝が折られた形跡が確認されて以降、水越、尾引、木戸、平田の各自治会へ熊の出没が12月14日(木)現在自治振興区内で9件相次ぎました。

今までは夜間柿の実を食べに来ることが大半でしたが、12月10日(日)に目撃されたのは、昼間14時30分頃平和町の平和簡易郵便局付近の国道183号線を横切り、車とぶつかりそうになるのが目撃されました。

段々と日常生活に近づいてきている感じがしますので、区民の方には自らの存在を示す鈴の着用や、ラジオの携帯など、身を守る対策を取っていただきますようお願いいたします。



## 投稿写真 本郷自治会 良神社の秋祭りを開催しました



10月29日(日)本郷町良神社では、神主さんを新しく迎え、4年ぶりに太鼓打ちが行われました。

境内入口では消防団による焼鳥等が参拝者に喜ばれていました。最後に子ども相撲で盛り上がり、祭りは無事に終了しました。本郷自治会 花房 豊

# 第16回「狼煙」再現プロジェクト 狼煙リレー開催



11月23日（木・祝日）市内5つの自治振興区が恒例の狼煙リレーを行いました。

午前10時に円通寺境内に自治会長、郷土史研究会メンバー13名が集まり記念写真撮影後、草刈り機、チェーンソーをもって甲山城跡の三の廓に登り、草刈りや、狼煙の材料作り、狼煙を上げるための櫓作りを行いました。

狼煙は、北・高・庄原・峰田各自治振興区をリレーし、11時40分山内にリレーされ点火が行われました。

この日の天気は晴れでしたが霞がかかっていて若干見通しの悪い状況でした。しかし、甲山城跡からは峰田自治振興区、庄原自治振興区の狼煙を確認することができました。狼煙上げ終了後は、地元消防団の方々に狼煙の後始末をしていただき、無事に狼煙リレーを終了することができました。



↑ 撮影者 山内町 安好芳子さん



↑ 今回狼煙リレー開催に協力してくださったみなさん ↑

↑ 撮影者 山内町 松村修治さん



## 投稿写真 クリスマス飾りを作りました！



↑ 滑良谷サロンのみなさん

## しめ縄を作りました！



↑ 小車目ふれあいサロンのみなさん  
11月16日(木)、今年も頑張って作りました！

